

## ニュース&トピックス

### FSRJ2004 は静岡県で!

FSRJ(プラスチック化学リサイクル研究会)の来年度の討論会開催地候補が決まりました。現在のところ、浜松駅周辺が有力です。開催日程や詳細などが決まり次第、本ニュースまたはホームページなどでお知らせして参ります。

### 国際会議の予定について

FSRJ が深くコミットしている二つの国際会議をご紹介します。まずは 3<sup>rd</sup>ISFR2005。これは昨年ベルギーで行われた 2<sup>nd</sup>ISFR2002 に続くものです。2005 年 9 月頃を予定しており、ドイツでの開催を予定しております。またおなじ 2005 年 12 月には Pacifichem がやってきます。おなじみ冬のハワイでの 5 年に一度の Pacifichem ですが、今回は FSRJ メンバーを中心とした、プラスチックリサイクルの独立セッションを予定しております。こちらも皆様是非参加を予定しておいてください。

### FSRJ 表彰制度始まる

秋の討論会の際に開催された臨時総会において、表彰制度について会長より提案があり、総会にて多数の承認を持って了承されました。下記に平成 16 年度功労・功績・進歩賞候補者についての推薦方法を右にまとめます。

## 平成 16 年度功労・功績・進歩賞候補者 推薦方法について

### FSRJ プラスチック化学リサイクル研究会

#### 1. 賞の対象

賞の対象は、本会表彰規程により定められている。

(別紙, 表彰規定参照、表彰規定は今回別途お送りした会員名簿についております)

#### 2. 提出書類

(1) 会長あて候補者推薦書(様式1)

(2) 業績目録・推薦の理由書(様式2)

なお、論文などの別刷は必要に応じ候補者に選考委員会が直接請求する。

#### 3. 書類執筆上の注意

(1) 清書は、なるべくワープロ印書とすること。(文字サイズ 10 ポイント以上)

(2) 業績目録は、本研究会討論会において発表した論文を下記例のとおり記載し、その他の論文、報文以外の総説、著書などは最後にまとめて記載すること。ただし、論文、報文の中に印刷中(in press)の査読論文(審査のある論文)は加えることができるが、投稿中(submitted)の場合は記載できない。

(3) 業績目録中、共著論文に関しては、候補者が総括研究者、または研究担当者である場合は [主] を、研究協力者である場合は [協] をその論文の末尾に付ける。

[例] 廃プラスチックの再資源化技術, 佐藤 修, 高橋 謙一, 田中 康人,

FSRJ 第6回討論会予稿集, (2003), 139-140 [協]

#### 4. 推薦書提出先および提出締切日

プラスチック化学リサイクル研究会事務局へ提出する。

提出〆切日 平成 16 年 1 月 23 日(金)

#### 5. 選考日程(予定)

第1回選考委員会(第一次選考) 平成 16 年 2 月下旬

第2回選考委員会(最終選考) 平成 16 年 3 月中旬

表彰式 平成 16 年 6 月

(16 年度総会時)

**会費の納入にご協力ください**

当研究会の活動は法人・個人の方々の会費によって支えられています。まだ本年度分をお納めでない方は是非この機会によろしくお願い申し上げます。

郵便振替

02240-9-41884

プラスチック化学リサイクル研究会

あるいは

東京三菱銀行仙台支店

普通 320-0998128

プラスチック化学リサイクル研究会

まで、会員名義でお振り込みください。

よろしく願いいたします。

プラスチック化学リサイクル研究会事務局

〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 07

東北大学大学院 環境科学研究科 奥脇研究室

内

TEL 022-217-7208/5875 FAX 022-217-587

FSRJ ニュース編集部

〒169-8555 新宿区大久保 3-4-1 早大理工 55

号 S602号室

関根 泰(FSRJ 東京支局)

電話・ファクス 03-5286-3114

Email ysekine@waseda.jp

本ニュースは年に二回の発行、次回は来年春の発行、担当は神奈川産総研の松本氏です。

2003 年 12 月発行 FSRJ News, Vol.11, 2003